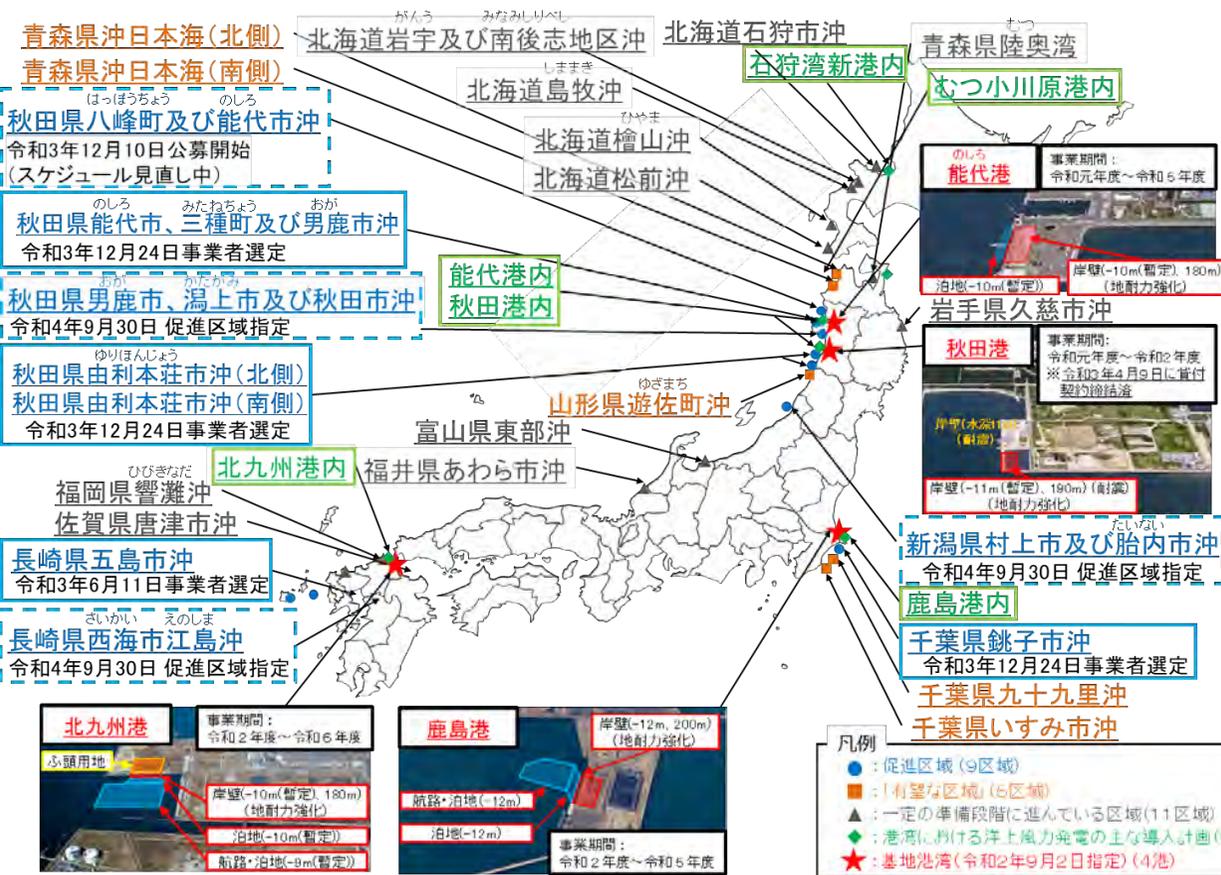


洋上風力発電の導入促進

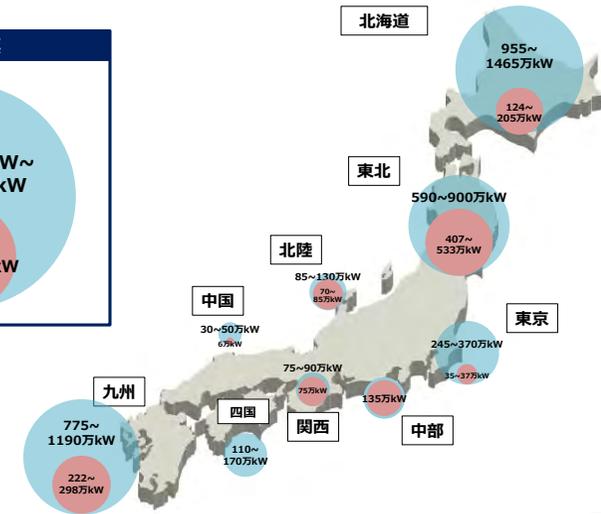
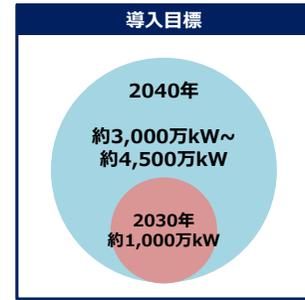
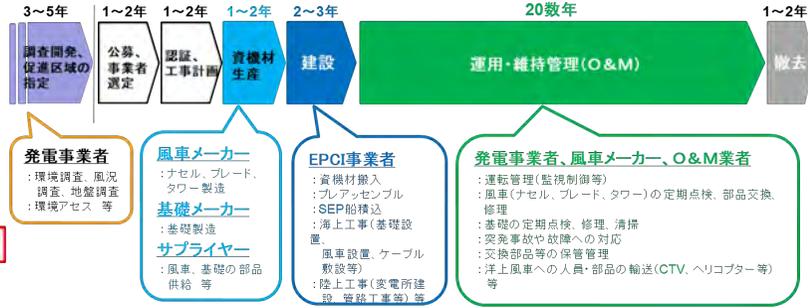
○H28の改正港湾法及び再エネ海域利用法に基づき、2050年のカーボンニュートラル実現に向け、洋上風力発電の導入促進を図る。
 ○現在、秋田港・能代港をはじめ、6港で占用予定者が決定済みであり、合計約65万kWのFIT認定を受けている。

○洋上風力発電は、整備に係る大規模民間投資の他、発電設備は機器・部品数が数万点と多く、サプライチェーンの裾野が広い。(一社)日本風力発電協会の試算では、2030年の1,000万kWの導入目標に対し、**直接投資5~6兆円程度**(2030年迄の累計)、**経済波及効果13~15兆円程度**(2030年迄の累計)、**雇用創出効果8~9万人程度**(2030年時点)。

○また、洋上風力発電のフェーズは、調査開発~公募・事業者選定~資機材生産~建設~運転~撤去の**約30年にわたって地域との関係が発生**。地先の洋上風力発電所の**建設、運用・維持管理**の段階における、**地元企業の参入(ビジネスチャンス)**や、**地域での洋上風力関連のクラスター形成**が期待。



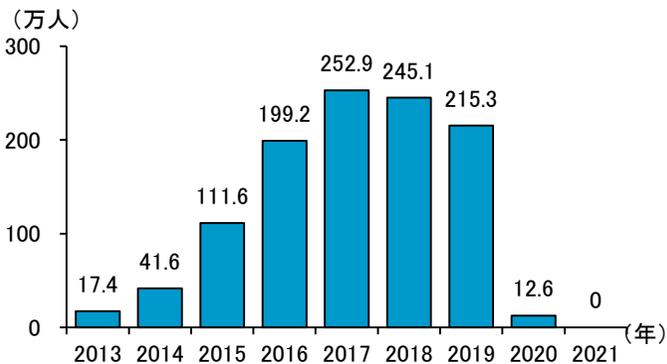
洋上風力発電のフェーズ(促進区域における開発の場合)



国際クルーズの再開に向けて

- 外国船社・港湾管理者・国で連携し、国際クルーズ拠点港湾を形成する中で、外国船社は、旅客ターミナルビル等に投資をしている。
- 一方で、コロナ禍により、国際クルーズは未だ運航再開に至っておらず、訪日クルーズ旅客の旅行消費額だけで年間約800億円あった経済効果も、ゼロの状態が続いている。
- 本格的なクルーズの再開に向けて、引き続き、クルーズを安心して楽しめる環境づくりを推進していく。

■ 訪日クルーズ旅客数の推移



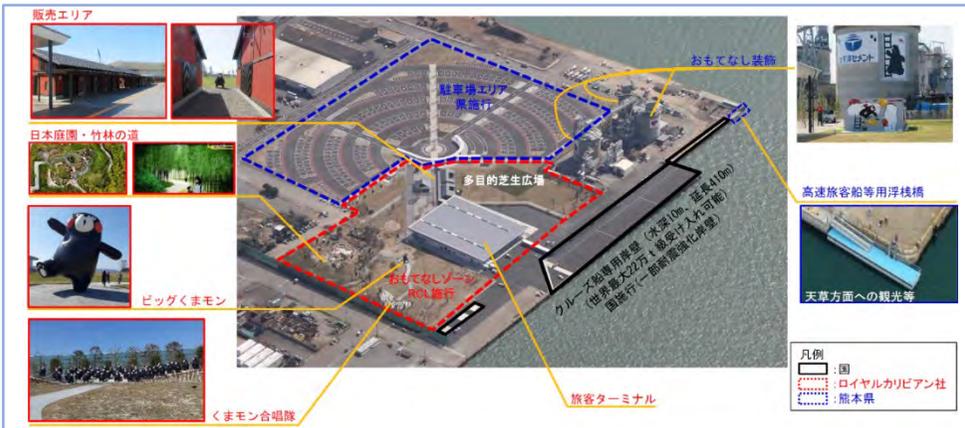
注1) 出入国在留管理庁の集計による外国人入国者数で概数(乗員除く)。
 注2) 1回のクルーズで複数の港に寄港するクルーズ船の外国人旅客についても、(各港で重複して計上するのではなく)1人の入国として計上している。

■ 国際クルーズ拠点の形成

<国際クルーズ拠点港湾>



<八代港における国際クルーズ拠点>



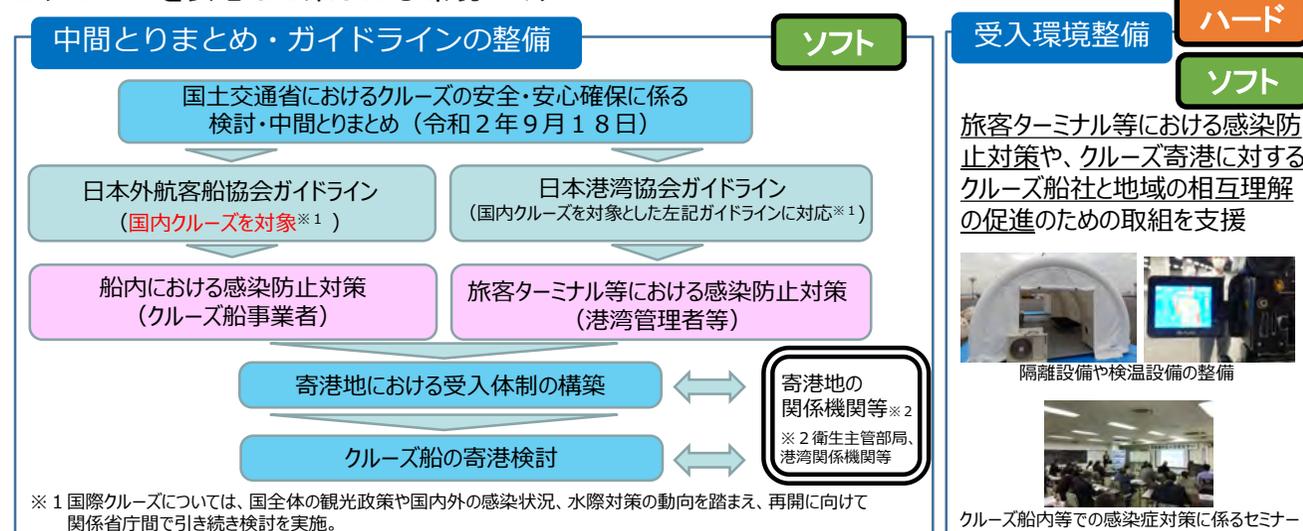
■ 訪日クルーズ旅客の旅行消費額

(7)クルーズ客の旅行中支出

- ・クルーズ客の旅行中支出は1人当たり平均39,710円であった。
- ・費目別にみると、「買物代」が1人当たり平均37,899円、「飲食費」が同1,258円などとなっている。
- ・クルーズ客の旅行消費額は805億円と推計される。費目別では、「買物代」が768億円、「飲食費」が25億円などとなっている。

出典: 訪日外国人の消費動向, 2019

■ クルーズを安心して楽しめる環境づくり



※1 国際クルーズについては、国全体の観光政策や国内外の感染状況、水際対策の動向を踏まえ、再開に向けて関係省庁間で引き続き検討を実施。